

お元気ですか

新型インフルエンザ

由岐病院内科 本 田 壮 一

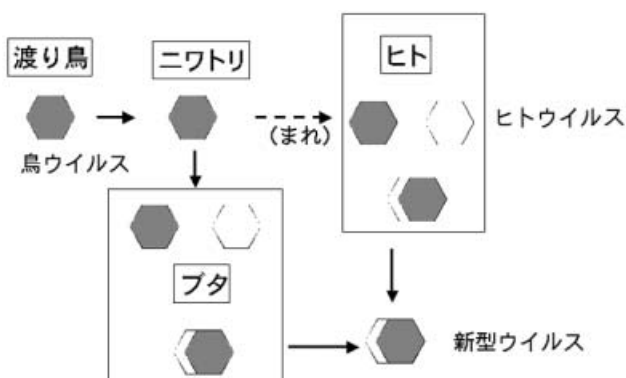
A型インフルエンザウイルスはヒトだけでなく、鳥類やブタ、馬（国体の馬術競技が中止になりました。）などの動物にも感染します。通常はヒトからヒトへというように同種の間で感染し、ヒトに他の動物のインフルエンザがかかることはありません。

しかし、インフルエンザウイルスの遺伝子情報（RNA）が子のウイルスにコピーされる時に、遺伝子情報が変更され性質が変わる（変異するといいます）ことがあります。変異によって、これまでヒトに感染しなかったウイルスがヒトへ感染するようになり、さらに、ヒトからヒトへ感染するウイルスが現れる場合があります。このようにして、ヒトからヒトへ感染する新しいインフルエンザが出現した場合を、「新型インフルエンザ」といいます。

鳥インフルエンザは、自然界で鳥が感染するインフルエンザです。通常はヒトに感染することはありませんが、近年、東南アジアを中心にヒトに感染した例が報告されています。最初は1997年に香港で18人がA型ウイルスに感染したニワトリより感染し、6人が死亡しています。このA型ウイルスの運び屋として水鳥や渡り鳥（カモなど）が確認されています。特にこのウイルスによりニワトリが大量死することが、問題となっています。ヒトからヒトへの感染はまだ確認されていないので、「新型インフルエンザ」とはいえませんが、鳥インフルエンザが新型インフルエンザになる可能性があります。

鳥インフルエンザが新型インフルエンザになるには、次のようなしくみが考えられます。（図）

図：新型インフルエンザの登場（仮説）



【著者略歴】

本田壮一（ほんだ そういち）
 由岐病院院長・阿部診療所所長（兼任）
 昭和33年7月、美波町田井の生まれ。富岡西高、徳島大学医学部卒業。徳島大学病院内科、関連病院勤務後、平成17年4月より、現職。

- 1) ヒトやブタが、鳥インフルエンザとヒトのインフルエンザに同時に感染して、体内で混ざり合い、ヒトからヒトへ感染するハイブリッド・ウイルスが生まれる（hybridとは「複合」という意味です）
- 2) 鳥インフルエンザウイルスが、鳥やヒトなどの体内で変化し、ヒトからヒトへ感染するウイルスになる。

あくまで仮説ですが、大流行の可能性があり、懸念されます。

新型インフルエンザの予防法は、うがいや手洗い、マスクをつける、人混みを避けるなど、通常のインフルエンザと同じです。しかし、この場合ヒトは全く抗体を持っていませんのでワクチンを接種する必要があります。現在のワクチンは新型インフルエンザには効きませんが、新型インフルエンザに効くワクチンを早期に実用化するために、世界中で研究が行われています。新型インフルエンザの治療には、抗インフルエンザ薬（タミフルなど）が有効であると考えられています。このため、国や県では、新型ウイルスの出現に備えて、抗インフルエンザ薬の備蓄を行っています。

まずは、通常のインフルエンザの予防が必要で、表に示したリスクのある方、医療・介護の従事者、受験生などは、できるだけ、この11、12月にインフルエンザワクチンを受けましょう。

表：インフルエンザにかかると、重症になったり、合併症をおこす可能性の高いグループ

65歳以上の高齢者の方
妊娠28週以降の妊婦さん
慢性の肺の病気(肺気腫、気管支喘息、肺線維症、肺結核など)の患者さん
心臓の病気(僧帽弁膜症・うっ血性心不全など)の患者さん
腎臓の病気(慢性腎不全・血液透析中・腎移植後など)の患者さん
代謝異常(糖尿病・アジソン病など)の患者さん
免疫不全状態の患者さん

ご意見・ご感想を歓迎します。

由岐病院 FAX：0884(78)0533